

## 6 単語の種類

### 6-1 要点のまとめ

1 単語の種類 単語は、次に示すような文法上の性質によって十一の種類に分けられる。

- ① それだけで文節を作ることができるかできないか。
- ② 使い方によって語の形が変化するかしないか。
- ③ 文中でどういう成分になるか。

### 2 自立語・付属語

① 自立語…単独で文節を作ることができる単語。

- ・文節の初めにあり、一文節中に一つだけある。

② 付属語…単独では文節を作ることができない単語。

- ・必ず自立語のあとにつく。
- ・一文節中に二つ以上ある場合もあり、また一つもない場合もある。

[例] 私 は 必ず 六時 まで に は 起き ます。

### 3 活用

◎ 使い方によって単語の語尾の形が規則的に変わること

[例] 「話す」…「話さない」「話します」「話すこと」「話せば」「話そう」

① 活用する単語

- ・自立語 [例] 起きる・来る・美しい・静かだ 等
- ・付属語 [例] ます・ない・れる・せる・ようだ 等

② 活用しない単語

- ・自立語 [例] 駅・意見・ゆっくり・あらゆる 等。
- ・付属語 [例] が・の・を・は・から・さえ・でも・くらい・ 等

### 4 合成語

① 複合語 … 二つ以上の単語が結びついて一つの単語になったもの

[例] 夜明け(夜+明ける) 力強い(力+強い) 青空(青い+空) 草木(草+木) 人々(人+人)

※「人々」「しんしん」のように同じ単語を二つ重ね合わせた複合語は、特に疊語という。

② 派生語 … 単語に接頭語や接尾語がついて一つの単語になったもの。

- ・接頭語 [例] お寺 ご飯 素顔 か弱い さしとめる
- ・接尾語 [例] 中村さん 私たち 深さ 寒がる 春めく